

研究実施のお知らせ

研究課題名:創外固定を装着したまま自宅退院する患者への感染予防を目的とした退院指導について
研究期間: 令和6年7月16日(仙台市立病院倫理委員会承認後)～令和7年1月

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。日本看護協会が制定した「看護研究における倫理指針」に基づき、匿名化された情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

令和6年2月下旬～5月下旬に当院へ入院し、下肢手術を受けられた方

【研究の目的と意義】

創外固定を装着したまま自宅退院するにあたり、退院後の感染を予防するための支援を家族への指導を含めて検討していくことを目的とします。また、今回の事例を通して看護師の役割について考察します。

【研究の方法】

医師記録、看護記録、理学療法士記録、医療相談記録、看護計画、看護過程の展開・評価、患者の S 情報から情報を収集します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報を研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

【研究の実施体制】

当院で後方視的に診療記録、看護記録の考察を行います

今回の研究では、診療記録・看護記録から得られる必要な情報を利用させていただきたいと考えております。このような情報を提供したくないとお考えの方は、以下の「問合せ先」へ遠慮なくご連絡ください。また、今回の研究に協力しないことによって当院での診療・治療において不利益を被ることは一切ございません。

【問合せ先】

仙台市立病院 9 階西病棟
代表022-308-7111(内線)3491
研究責任者 看護師長 山家 香織
研究担当者 田中 恵海